北海道旭川聾学校（令和８年９月２６日作成）

総合的な学習（小5　視覚障がい）

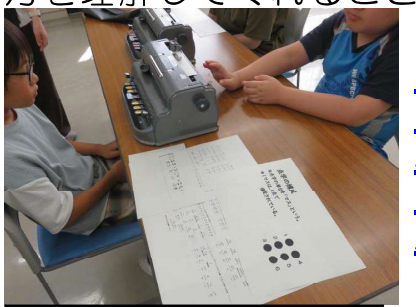




見えない（見えにくい）方が使う道具です。

９月１６日に小学部５年生が総合的な学習の時間に旭川盲学校を訪問し、視覚障がいについて学びました。旭川聾学校サポーターズの方に写真撮影をお願いして無理なく記録を取ることができ助かりました。児童にとってはとても多くの学びのある時間になったと思います。きこえないということだけではなく、見えない（見えにくい）という障がいなど様々な障がいのことを知ることは、多様性を学ぶ上でとても大切なことです。そして、障がいの多様性だけではなく、多国籍で様々な背景をもつお子さんが学ぶ現代において、ダイバーシティ＆インクルージョン（Diversity & Inclusion：D&I、DI）という考え方を学ぶことにもなり大切なことだと思います。多様な人々同士が認め合い、一人ひとりが能力を発揮できる環境作りを推進する人材を育てるためには相互理解が不可欠ですね！

盲学校では、校内を案内していただいたり、先生から視覚障がいについて説明していただいたりしました。校内の見学で児童は、校内の展示物にも点字が付されており、でこぼこした点字や感触の違う素材を使った掲示物を実際に触って感じていました。この日に学んだことを、すぐにはわからなくても、自分たちのことと同じこととして感じてくれ、「違いを認めること（ダイバーシティ）」と、「誰もが仲間として参加し活躍できること（インクルージョン）」を大切にする考え方を理解してくれることを期待しています。



パーキンスブレイラーで点字に挑戦！！

盲学校の皆さん、ありがとうございました！！



ゲームで児童同士の交流！



白杖体験をしました！